



### まとめ ～数学的な見方・考え方も価値づける

#### 改訂の核心!

各時の授業のゴールである授業のまとめでは、用語の意味や計算方法など知識や技能だけではなく、**数学的活動の中で動かした数学的な見方・考え方を付けて価値づけました。**数学的な見方・考え方を成長させることで、**深い学びより確実な理解につながります。**

まとめで数学的な見方・考え方を価値づけるために…

#### で数学的な見方・考え方を可視化

小数のたし算の計算方法では、単位とする数の0.1に着目し、整数の計算に帰着して考えたことを価値づけます。

#### 深い学びを可視化 (統合的、発展的に考える)

既習の何十のたし算の計算においても、10を単位として同じ数学的な見方・考え方を働かせてきたことを振り返って統合し、学びをさらに深めます。

授業づくりへの活用のイメージ → p.15

#### まとめのの伏線

数学的な見方・考え方を特に働かせたい問題解決の過程(補助発問①や吹き出し等)を、を付けて示唆します。

### 練習問題

～深い学びの追体験と習熟

▼3年「小数」3年下p.10

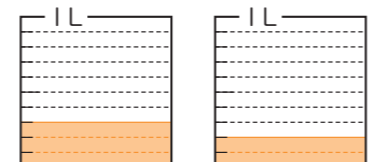
#### 3 小数のしくみとたし算、ひき算

1 ジュースが、大きいびんに0.3L、小さいびんに0.2L入っています。あわせて何Lありますか。



しき式

計算のしかたを考えよう。



1 0.3L, 0.2Lは、それぞれ0.1Lの何こ分ですか。

0.1Lの□こ分 0.1Lの□こ分

0.1Lの何こ分という見方・考え方が動く場

まとめ

0.3+0.2は、0.1をもとにして、3+2の計算で考えることができる。

30+20は、10をもとにして、3+2の計算で考えることができるのと同じだね。

2 右の計算のしかたをせつ明しましょう。  $0.8+0.2=1$

3  $0.4+0.7$ の計算のしかたを考えましょう。

1  $0.2+0.4$ は、0.1をもとにすると、どんな計算で考えることができますか。

- 2 ①  $0.3+0.4$  ②  $0.5+1.4$  ③  $0.5+0.5$  ④  $0.6+0.4$   
⑤  $1+0.2$  ⑥  $0.7+2$  ⑦  $0.4+4$  ⑧  $0.5+0.8$

10

「ほじゅうのものだい」 → p.12

しほ 小数のひき算もできるのかな。

#### 新たな問いを創出する姿の例示

▼5年「分数のたし算とひき算」5年下p.4

りく もっとかんたんに、大きさの等しい分数を見つけられないかな。

### 単元プロローグ ～児童の対話で単元全体の課題を創出

先生の声

今の教科書にもあるけど、紙面の活用の仕方が見えにくいページもありますね。

#### 改訂の核心!

対話を通して、日常事象や生活経験を話題として学習意欲を高めたり、既習内容を整理し振り返りながら、単元の課題を創出するページとしてご活用いただけます。

▼単元プロローグ 3年下p.2~3

まだ学習していない数はあるかな?

13L リン 1.3 リットル

215分 DVD R DL 21.5

365日 カレンダー 36.5℃

12 数の表し方やしくみを調べよう

前のページのの水とうに入る水のかさを調べています。 1Lとあと少し入るね。

1より小さい数の表し方

1 水とうにいっぱいに入る水のかさを、1Lのますで調べたら、1Lとあと少し入ることがわかりました。1Lより少ないあと少しのかさは、何しといえよいでしょうか。

1Lより少ないかさを、して表す方ほうを調べよう。

1 右のかさをして表すには、1Lのますにどのようなめりをつけられいでしょうか。

これまでに学習した数と、まだ学習していない数の、にているところやちがうところなどを話し合ってみよう。

使っている数字は、どちらも…。 あみ りく 数字の間の「.」は、どういう意味かな。

#### 対話の視点を明示

ここでは、「既習と未習の数の共通点と相違点」という視点を明示しています。対話により学習がスタートします。

#### 単元タイトル名が単元全体の学習課題

プロローグでの児童の対話を通して、数の表し方やしくみ(小数)について考察するという単元課題を創出します。

### 学習の振り返り ～深い学びを経て、学びに向かい続ける児童の姿の一例

▼6年「拡大図と縮図」6年p.94

こうた 合同な図形と同じように、角の大きさや辺の長さに注目したら、同じ形に見える理由がよくわかったね。

#### 統合的、発展的に考え続ける姿の例示

▼4年 小数の倍 4年下p.99

はると 1とみる量のほうがいつも小さいのかな。

#### 改訂の核心!

各時の終わりには、「学習の振り返り」として、学習を価値づけたり、次の学びをつくり出したりする児童の姿を例示しました。学習を振り返り、学びに向かい続けようとする態度や、その際に働かせる**数学的な見方・考え方を育成するとともに、評価の手がかりとすることもできます。**なお、この「学習の振り返り」は、**1単位時間の学習の区切りのめやす**としてもご活用いただけます。



# 単元末

- 学習のしあげ—小数 **いかしてみよう**
- 学習のしあげ—小数 **たしかめよう**
- 学習のしあげ—小数 **つないでいこう算数の目** ~大切な見方・考え方

単元末は、「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」の3つで構成しています。

## つないでいこう算数の目 ~単元で働き、成長した数学的な見方・考え方を振り返り、価値づけ、磨く

### 改訂の核心!

単元の学習で特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るページを、単元末に新設しました。学習のゴールを、答えを求められるかの確認にとどめることなく、**数学的な見方・考え方の成長**を支えます。ご指導経験の浅い先生も、本ページを参照することで、本単元で成長させたい数学的な見方・考え方をつかみやすく、**教材研究の効果・効率の向上を支援**します。

授業づくりへの活用のイメージ → p. 14

▼3年下 p.20

### 数学的な見方・考え方を明示

問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えてきたのかを明示します。

### 数学的な見方・考え方に焦点化した問題

0.3 + 0.4, 30 + 40 などの答えを求めるのではなく、ここでは、どんな数を単位とすると3 + 4の計算に帰着させられるかを、既習を含めて問います。

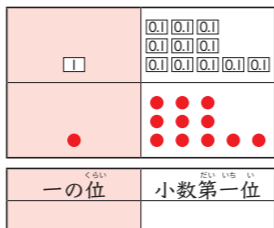
### 対話による「単元全体の学習の振り返り」

毎時の「学習の振り返り」を受けて、対話により単元全体を振り返り、価値づけたり次の学習を創出したりする姿を例示し、対話により学習を締めくくります。

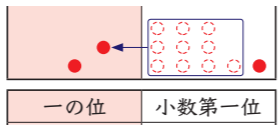
## つないでいこう算数の目 ~大切な見方・考え方

### 1 数のしくみに注目し、数の表し方を考える

右の図が表す数はいくつですか。こうたさんの考えをもとにしてせつ明しましょう。



0.1が11こある。0.1が□こ集まると1になって、1つ上の□の位にうつるから…



整数でも、同じ位の数が10こ集まると同じように…

### 2 もとにする数に注目し、計算のしかたを考える

次の計算は、どんな数をもとにすると3 + 4の計算で考えることができますか。また、計算のしかたをせつ明しましょう。

- ① 0.3 + 0.4
- ② 30 + 40
- ③ 300 + 400

「数の表し方やしくみを調べよう」の学習をふり返って話し合ってみよう。



小数を使って、1より小さい数を表すことができるようになった。



0.1より小さい数もあるのか調べてみたい。

4年でくわしく学習するよ。

20

### 数学的な見方・考え方で学びを統合

既習の整数の場合でも、同じ数学的な見方・考え方を働かせてきたことを示し、学びの統合を促します。

## いかしてみよう ~学びを日常の世界で活用

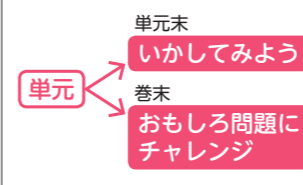
### 改訂の核心!

新教育課程では、数学的活動を規定する中で、日常(現実)の世界、算数・数学の世界という2つの場における学習過程が強調されています。そこで、原則として全単元の学習後に

**単元末「いかしてみよう」:**  
学びを日常(現実)の世界で生かす場

**巻末「おもしろ問題にチャレンジ」:**  
学びを算数・数学の世界で生かす場 → p. 12

のいずれかを設定しました。



学びを生かす経験の積み重ねが、生きて働く知識・技能の定着や学びを生かす力の育成につながります。

当該単元の小数の学習だけでなく、測定や図形などの既習事項も活用して、日常の問題を解決します。

▼3年下 p.18

## いかしてみよう

身のまわりでは、道のりやきよさを表すために小数が使われていることがあります。

- 下の地図は、まりさんの家の近所のもので、この地図を見て、まりさんの家の近所の様子を調べましょう。



- まりさんの家から、文ぼう具店までのきよりは何kmですか。
- 文ぼう具店から、たいちさんの家までのきよりは何kmですか。公園は、どんな形をしているかな。
- まりさんの家から、スーパーマーケットまで行くのに、いちばん短い道のりは何kmですか。
- ⑦の道の入口には、下のようなひょうしきがあります。下の②、③の車は、それぞれ⑦の道を通ることができませんか。



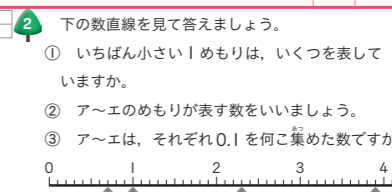
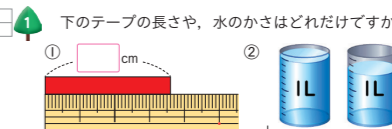
18

## たしかめよう ~理解の確認、技能の定着

基礎的・基本的な学習内容の理解を確認し、技能を定着させるページです。

▼3年下 p.19

## たしかめよう



- 下のテープの長さや、水のかさはどれだけのさか。① 6〜9 ② 3〜9
- 下の数直線を見て答えましょう。① いちばん小さいめもりは、いくつを表していますか。② ア〜エのめもりが表す数をいましょう。③ ア〜エは、それぞれ0.1を何こ集めた数ですか。
- 次の①〜④の数は、いくつですか。① 3と0.2をあわせた数 ② 4より0.2小さい数 ③ 1を6こ、0.1を4こあわせた数 ④ 0.1を27こ集めた数
- にあてはまる不等号を書きましょう。① 0.7 □ 0.4 ② 1.3 □ 0.8 ③ 1.8 □ 2

- ① 0.8 + 0.7 ② 1.4 + 0.6 ③ 2 + 0.9 ④ 1.8 - 0.4 ⑤ 1.7 - 0.8 ⑥ 1 - 0.5 ⑦ 5.6 + 2.8 ⑧ 2 + 6.3 ⑨ 8.2 - 3.7 ⑩ 8 - 2.4

**理解の確認が確実にできるしくみ①**  
問題のめあて、問題に対応したページ・問題番号を活用して、自己評価や本文へ戻って確認することが可能です。

**理解の確認が確実にできるしくみ②**  
問題ごとに、チェック欄を活用して、効果的に繰り返し取り組むことが可能です。

弾力的な時間割編成を可能とするための区切りマークです。  
カリキュラム・マネジメント → p. 27

問題の設定に際しては、各種学力調査の結果を分析し、児童のよくあるつまづきに十分に対応しました。別冊パンフレット「つまづきへの取り組み」もご覧ください。

19